

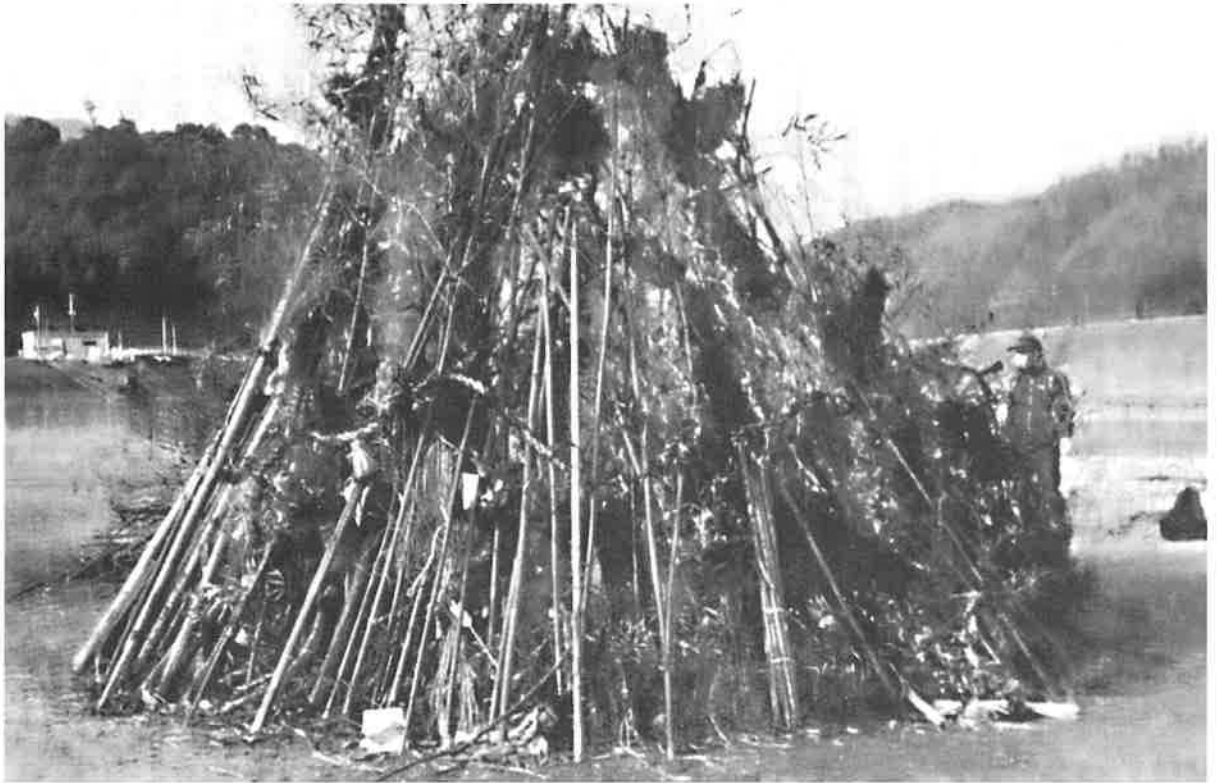
深川社協だより

ふかわ

■ 編集発行 深川地区社会福祉協議会広報部会 ■ 発行人 向井文武



例年なら多くの人で賑わう小正月の恒例行事「とんど祭り」は、今年もコロナ禍で中止になり、かわって正月かざりや、お札を焼く「おたきあげ」が、一月九日(日)、三篠川薬師橋付近の河川敷(深川五丁目)で行われました。【真撮影 永田ミズエ氏(中郷)】



深川地区社協からのお知らせ

深川地区社協 会長 向井文武

一、広島市八区の区社協は令和四年四月一日より社会福祉法人広島市社協と合併をします。

合併の目的

八区社協は、昭和六十年法人認可を受け独立した法人格を持つことで、国庫補助金を受けるメリットがあったものの、平成二十四年三位一体の改革でメリットが薄れ、更に平成二九年の社会法人制度の改革により、法人運営事務、経理事務は小規模な区社協では大きな事務負担となりました。こうした中、今日では地域共生社会の実現が重要な課題となり、社協職員は地域に向き、地域福祉活動の推進に取り組み、より一層の強化支援を目的として市社協と合併することになりました。

二、地域社協活動拠点活性化支援事業

この事業は「市社協」「区社協」が連携し地区社協が行う活動拠点に、常駐スタッフを配置し、拠点において住民同士がつながり合い、地域における様々な困りごと、誰しもが気軽に相談できる体制づくりを促進し、問題や課題を解決していき、まちづくりを目的とします。常駐スタッフは概ね三名を基本とし地域の実情によっては、これを超える登録も可とあります。

三、地域団体間の連携支援基金事業費助成

趣旨は、地域社協が中心となって地域団体間の連携強化を支援することにより、「自分たちのまちは自分たちで創る」という考え方に基づく、地域で様々な取組みの普及を目指します。広島市からの出資金により、令和三年に広島市社協が新たに「地域団体連携支援基金」を設置し、この「地域団体連携支援基金」を活用し、地区社協と各種団体が連携した地域課題の解決、「地域コミュニティの活性化を含む」に向けた取組みを支援する」とあります。

深川学区体育協会が令和3年度「生涯スポーツ優良団体文部科学大臣表彰」を受賞

深川学区体育協会が生涯スポーツ優良団体として文部科学大臣表彰を受賞しました。受賞理由としては生涯スポーツに親しむために多様な部活動に地道に取り組み、住民の体力の向上やスポーツ精神の高揚に寄与していることや、なによりも昭和52年から現在まで実施している学区民運動会を通して地域住民の結びつきを深めることに取り組んでいること、また子ども会や福寿会などと連携した活動を通して世代間交流を行っていることなどがあげられます。さらに過去の地域の豪雨災害時の被災家庭への支援や、地域行事に積極的に関わり貢献していることなどが認められました。

深川学区体協の田上誠也会長は次のように述べています。

「地域の皆様の健康で明るいまちづくりを共につくっていかうとする思いを、絶やすことのないよう活動を続けてきました。文部科学大臣表彰はこうした活動を評価していただいたものと思っております。これもひとえに深川学区の皆様のご理解とご支援のおかげと感謝しています。これまでの先輩方が築いてこられた活動の灯を絶やさず



となく、より一層、活動の充実を図っていききたいと思えます。」

また深川地区自治会連合会の福岡壽会長は「この表彰は全国で59団体、広島県内では4団体とお聞きしています。こんな立派な賞を受けられたことは地域住民としても大きな誇りです。学区民運動会も地域コミュニティの活性化を図る行事の一つとして今後もずっと継続開催していただきたいと思えます。」と語りました。

災害はいつ起こるかわからない 指定緊急避難場所の再確認を！

昨年8月12日夜には警戒レベル3が発令され避難所が高陽中学校に開設されました。そして線状降水帯が発生し大雨特警戒警報も出るなどしました。避難所が閉鎖されたのは19日でした。その間、最も多くの利用者があったのは13日夜10時の15名だそうです。

「避難しようと思つて高陽中学校へ行ったけど体育館が閉まっていた」という声もありました。【体育館は避難場所ではありません（せん）】

そこで高陽中学校の避難所の開設場所を下記の写真を参考に、再確認しておくことをお勧めします。【北側の校舎の奥です（〇印の所）】



避難所はここです

愛のともび

深川地区社会福祉協議会に対し、福祉事業の活動にお役立て下さいと、次の方々から香典返し他のご厚志をお寄せいただきました。皆様の善意に厚くお礼申し上げます。

- 廣田 忠治 (深川五丁目)
- 土手 弘充 (深川二丁目)
- 中ノ堂秀和 (深川七丁目)
- 久都内浩史 (深川五丁目)
- 宮本 巖 (深川二丁目)
- 石田 雅雄 (深川六丁目)
- 清水池由美子 (深川三丁目)

(令和三年八月〜十二月)

香典・見舞返し・その他皆様の善意の募金をお寄せ下さい。お寄せいただいた募金は深川地区社会福祉事業の活動に役立てさせていただきます。【深川地区社会福祉協議会】

深川地区の皆さまへお願い

最近、夜、灯りがつかない・新聞がたまっているなど、ご近所に気がかりな方はありませんか、もしお気付きになったら、各地区の自治会長・民生委員・福祉委員・地区抱括支援センターへご連絡ください。ご近所の温かな目配り・気配りで安心して暮らせるまちづくりを！【安心ネット推進委員会】

深川の人を たずねて

中ノ殿敏男さん (91歳)

(深川七丁目)



このこと。気持ちがぐっと前に出た言葉にもとお話を伺いたいと思ひ、後日訪問しました。

◆元気の源は何ですか？

元気の源は、周りの人とのふれあいかな。それと楽しめるものを持っていることです。人と交わることが好きでグラントゴルフ(GG)、旅行などを楽しく生活している。GGは20年近くになるかな。地域の公園でやっているが、場合によっては北広島や島根のGGができる施設を利用し、プレーの後は昼

家の周りの畑でよく働いておられるのを見かける中ノ殿敏男さん。正月明けに見たら真新しいトッパカー(運搬車)に乗って何やら運んでおられる。驚いて話しかけたら、「これがないと仕事ができん。」

食、温泉、景品交換と和気あいあいと過ごす。これがまた楽しい。個人の成績を記録、集計して定期的に公表する。お互いの励みにもなります。

農協主催の外国旅行によく行きました。エジプト、ベトナム、中国、ハワイ、台湾などに行きました。地域の方との旅なのでどれも楽しく、それぞれが印象に残っているが、スフィックスやベトナムのハロウ湾クルーズなどはよかったですね。

◆よく覚えておられますか？

ほとんど記録してるよ。家内だけ行ったのも、一緒に行ったのも。エクセルで作ったんだけどね。これも頭の体操だよ。(パソコンで記録してファイルされたものをみせてもらいました。)

◆どんな仕事をされていたのですか？

電電公社(現NTT)に勤めていた。昭和44年には松江に転勤になった。子どもも連れて家族で赴任して3年いた(妻の敏枝さんは方言が独特のアクセントで慣れるのに苦労したけど白かったとのこと。山口県の大島や、三原、尾道は単身赴任だったとのことです)

◆農作業もとても楽しそうですね。

勤めながら、ずっとコマや野菜を作ってきたよ。稲作は苗の手植えの頃から、隣近所で助け合いながら田植えをしたよ。「フレンドリー深川」という野菜作りの会に所属して、できたものを農協の朝市などに出荷したりしてね。イチゴのハウス栽培、そして出荷。きつかったけど楽しかったね。だからコマ作りや野菜作りはやめられんよ。だからこれもなきやあね。(と、いつか新しいトッパカーをさすっておられました。)

◆今年の抱負、目標は？

大きな目標はないけど、健康に一日一日を楽しく過ごすことだね。それと忘れんうちに「自分史」を作りたいね。子どもの時からのことを思い出しながら、パソコンで書いてみたいな。

敏枝さんも傍でよく話をしてくださいました。敏男さん、敏枝さんありがとうございました。

取材 山口悦朗 (深川社協広報部長)

ふかわの昔 院内編

中深川の三篠川北岸にある院内は、高陽町史によると、昔この地域一帯が院の内(院内)といわれる程の大寺院がありました。正明院薬師寺です。弘法大師の開基で、本尊の薬師如来は福王寺本尊不動明王の二番木で作られたと伝えられています。薬師寺は古義真言宗京都仁和寺の末寺で八三一年に建立され、以降隆盛をきわめ、七堂伽藍に末寺が十二あったといわれます。この寺は毛利氏の祈願所として厚く保護され、仁王門も元就等の寄進です。その後、寺院を守っていた牛尾高重(存秀)が浄土真宗に改宗して明光寺を建立し現在に至っています。現存の薬師堂は一五三六年に建てられ、外部は改修されていますが、内部は創建当初のままで、室町時代の建築様式がわかる貴重な建物です。(市の重要文化財)

本尊の薬師如来は一五三〇年に制作され坐像としては市内最大で、寄木造りで表面に金箔が置いてあります。(県の重要文化財)。年に一度、五月開催の薬師まつりで開帳されています。

明光寺裏の小高い丘に建つ天神社は、牛尾谷の伊勢社と山神社が合祀され、年に三回お祭がある珍しい神社です。

院内の西の端には三篠川沿いに金明鉢山跡があります。銅の鉢山として広島では有名でしたが、昭和44年に廃山となり、現在は坑口跡に桜が植えられています。

最後に弘法大師伝説を紹介します。大師が薬師像建立の際「人六」(院内古墳)の場所を修業され「薬師霊水」で身を清め薬師像を刻まれたと伝えられています。



薬師堂 (広島市重要文化財)

深川郷土史研究会 升尾成美



いきいきサロン便り

コロナ感染症の拡大がなかなか収まりません。みんなが集い、近況を語り合い、健康づくりをし、ゲームを楽しみ大いに笑う。そんな日が一日も早く来ることを祈るばかりです。

「あんびんの会」(陰地・奥迫・深川台)は昨年11月、12月の2回実施しました。11月はグランドゴルフを行いました。久しぶりに皆が集い「元気だった?」と笑みがこぼれました。12月はホッケーゲームとプレゼント交換をしました。

「みつば会」(中郷・西塚・院内)は昨年12月に久しぶりに開くことができました。

「みささの会」(上庄・下庄・尾和)は昨年開催することができませんでした。毎回、参加者が50人以上の出席者があり、とてもうれしいことですが、コロナ禍の中で心配が大きいのも事実です。サロンの開催方法を検討していかなければという声が出ています。今後



ホッケーゲーム興じる「あんびんの会」の皆さん

のサロン開催に関しましては、行政サイドの指事をあおぎながら判断してまいります。各地区の主催者からの連絡を、今しばらくお待ち下さい。よろしく申し上げます。

お知らせ

深川地区社協では車椅子の貸出しを行っています。希望される方は社協の事務所まで連絡してください。
連絡先(水曜日の午前中)

TEL・FAX
082-824-8501



現在2台の車椅子があります。ご利用ください

深川学区子ども会育成協議会 ～専門部会からのお知らせ～

■深川フレッシュボーイズ(ソフト部)

チームのモットーは挨拶・礼儀・感謝の心です。現在、1年生～6年生まで男女合わせて27名が楽しくのびのびと活動しています。

ぜひ皆さんもお友達と一緒に楽しくソフトボールをしてみませんか??

運動が苦手でも大丈夫!監督やお父さんコーチが優しく指導してくれます。

体験見学はいつでもできます。

◆活動日時 土曜日(午前)・日曜日(午後)

※詳しい時間はお問い合わせ下さい

◆活動場所 深川小学校グラウンド

◆部費 1ヶ月1200円

◆お問合せ 部長 吉村涼子(090-5700-1335)

■フット部

フット部は、現在5、6年生4名で活動しています。今年はコロナ禍で練習ができない時期もありました。その中でも、助っ人のお友達を4名迎え、落合東と合同チームで、8月8日(日)安佐北区夏季球技大会に出場しました。

いつもと違うメンバーや違うチームの監督、メンバーと練習から共に取り組むことで、目的に向かって心を一つにして頑張ることを学びました。これからも一緒に楽しんでくれるメンバーを引続き募集しています。気軽に遊びに来てくださいね!

◆お問合せ 部長 芹沢芳美(090-1182-3119)

深川社協からのお知らせ

令和三年度・安佐北区社会福祉大会において、永年にわたり地域福祉活動に貢献された功労者として、深川地区で左記の六名の方々が広島市及び安佐北区社会福祉協議会会長より表彰されました。

安佐北区社会福祉協議会会長表彰

地域福祉功労者

川端忠男 (深川六丁目)

山口悦朗 (深川七丁目)

岩田和昭 (深川五丁目)

荒川忠臣 (深川五丁目)

地域福祉事業協助者

山口昌利 (深川四丁目)

加藤洋子 (深川三丁目)

林孝治 (深川六丁目)